



草津中通信

令和4年 3月4日(金)
草津町立草津中学校 No.21

教育目標 心豊かで、高い知性をもつ、健康な生徒の育成

予餞会はリモートで



二月の末にオンラインで予餞会を実施しました。スクリーンや、大型モニターを利用して学級ごとの発表を通して、三年生のこれまででの活躍に感謝の気持ちを表しました。

県内公立高後期選抜に10名が挑戦！

7割を超える仲間の進路が決まる中、不安な気持ちと向き合いながら努力を続けてきた3年生も来週8日、9日に公立高後期選抜を迎えます。目標達成に向けてがんばれ！

2年生二名が県中体連優秀選手として表彰される

山口仁太郎(クロカン リレー全国7位)

中島 奨(コンバインド 全国10位)



「草津の『冬住み』」 こんな昔話があります

英検3級合格者

1年 山本 真緒

3年 能登谷季空

3級取得には二次試験があります。



その昔、冬になる前に草津の住人は十月半ばには六合村に移り住んだ。そして、賑やかな温泉場も翌年春まで留守番を残して半年間は雪に埋もれた。年を越して三月になった頃、ある旅館で留守番をしていた男がいた。夜になると女たちの賑やかな話し声は何日も聞こえてきた。ある晩、思い切つて声の聞こえてくる蔵の扉を開けて一番奥に行くと、大きなつづらがあり、そこにはいっぱいひな人形がしまわれていた。三月には飾ってくれる人がいないので、しまわれたままのひな人形たちの話し声だった。留守番の男は人形を外に出し、ひな壇を設営してなぐさめた。

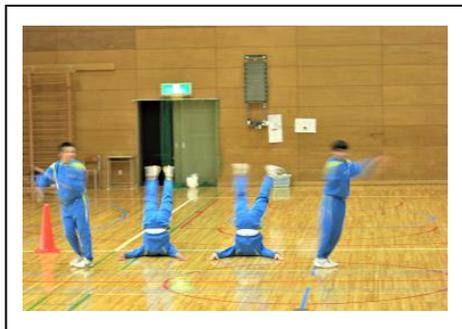
3年生卒業式練習始める



11日の卒業式に向けての準備をしています。歌の時間を確保するため、入場は二列するなど工夫しています。

正常性バイアスは対策の大敵？
バイアスとは、「先入観」などと訳されて心理や医療で用いられる用語です。
何か起こるたびに反応しているとヒトのこころは疲れてしまうので、そのようなストレスを避けるために自動的に脳が働き、「これは正常の範囲である」と判断し、こころの平安を守る作用が備わっています。これを「正常性バイアス」といいます。ところが、この防御作用である「正常性バイアス」が新型コロナウイルス感染症についてはこんな心配も…。
「自分は感染しないだろう」という正常性バイアスが働いた結果、「マスク無しの会話」「不十分な感染対策下の会食」「手指消毒の不徹底」「不規則な生活」など『自分だけは大丈夫』といった理由のない思い込みで「つい、うっかり」といったことがないかを確かめながら、感染の流れを食い止めていきましょう。

体育の授業で創作ダンス



例年は日体大の学生さんと一緒に踊る機会があったのですが、新型コロナウイルス感染症予防のために今年はそれがありませんでした。

そのようななかで、生徒たちは学年ごと、学級ごとに趣向を凝らした振り付けと勢いのある踊りを披露していました。